

日程表

第41回日本登山医学会学術集会 「山岳救急医療の意義と挑戦」

2021.4.22公開

第1日 2021年5月29日 (土)

プログラム

時刻	カテゴリー	現地 Live発表	オンライン Live配信	オンデマンド 配信	演題・演者
8:00	開場・受付				
8:15-8:20	開会式、会長挨拶	○	○	○	
8:20-8:56	一般演題1「高所・登山(Ⅰ)」	○	○	○	座長：原田 智紀 (日本大学医学部機能形態学系生体構造医学分野)
9:00-9:36	一般演題2「体温・代謝」	○	○	○	座長：斎藤 篤司 (九州大学人間環境学研究院健康・スポーツ科学講座教授)
9:40-10:16	一般演題3「体力・トレーニング」	○	○	○	座長：小野寺 昇 (川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科教授)
10:20-10:56	一般演題4「山岳臨床医療(Ⅰ)」	○	○	○	座長：夏井 裕明 (日本女子体育大学教授)
11:00-12:00	総会	○	○		
12:10-13:10	ランチョンセミナー1 【共催：テルモ株式会社】	○			座長：大城 和恵 (北海道大野記念病院山岳外来・循環器内科) 「ECMO (人工心肺装置) ～基本と低体温症の治療」 演者：文屋 尚史 (札幌医科大学 高度救急救命センター)
13:20-13:45	会長講演	○	○	○	座長：水腰 英四郎 (金沢大学附属病院消化器内科准教授) 「日本の山岳遭難死～生存率の改善を目指して」 演者：大城 和恵 (北海道大野記念病院山岳外来・循環器内科)
13:50-14:30	海外招待講演1		○		座長：山本 太郎 (長崎大学大学院グローバルヘルス研究科教授/ 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野主任) 「低体温症の病院前マネージメント (WMSガイドラインに基づく)」 演者：Ken Zafran (Clinical Professor - Department of Emergency Medicine, Stanford University Medical Center -Stanford, CA, USA)
14:35-15:15	海外招待講演2		○		座長：斎藤 繁 (群馬大学麻酔科教授) 「外傷と低体温症」 演者：Peter Paal (Department of Anaesthesiology and Intensive Care Medicine, Hospitaliers Brothers Hospital, Paracelsus Medical University, Salzburg, Austria)
15:20-16:00	特別講演	○			座長：山本正嘉 (鹿屋体育大学運動生理学教授) 「山岳救助への医療導入を果たして ～低体温症生存救助率の改善」 演者：村上 富一 (元北海道警察山岳遭難救助指導官・対策官)
16:05-16:35	スペシャリスト・スピーチ1	○			座長：片井みゆき (政策研究大学院大学教授) 「パイロットが語る 『エアレスキューの危険とやりがい』」 演者：高畑 英樹 (北海道警察本部航空隊長/パイロット)
16:40-17:10	スペシャリスト・スピーチ2	○			座長：山内武巳 (石巻専修大学運動生理学教授) 「窒息・肺挫傷・脊椎損傷からの生還 ～標高7500mから私が助かった理由」 演者：竹内 洋岳 (日本人唯一8000m峰14座登頂者)
17:15-17:55	海外招待講演3		○		座長：三浦豪太 (慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授 プロスキーヤー/元オリンピックモーグル選手) 「雪崩埋没：生存率の改善へ」 演者：Hermann Brugger (Head of Institute of Mountain Emergency Medicine, Associate Professor Innsbruck Medical University, Austria)